

野木小学校
同窓会報

第 30 号
令和 2 年 2 月
野木小学校同窓会編集部



第59回卒(昭和43年)
同窓会会長(堤) 井上 秀 司

ご挨拶

今年度も野木小学校同窓会会報の発刊時期を迎えました。寄稿をお願いし、且つ快くお引き受け頂いた卒業生、及びかつて野木小学校にて教鞭を執って頂いた先生方、旧関係者の皆様から感謝申し上げます。

さて、今年度は非常に話題の多い年でした。新天皇ご即位により、五月から年号も改まり令和幕開けとなりました。宮中では数多くの儀式が催されたでしょうが、私たちにとって最も印象的であったのは、祝奉曲奉納で国民的アイドルグループ、

嵐が登場した国民祭典と、祝賀パレードではなかったでしょうか。皇后雅子様が感極まり目頭を押さえられる仕草に、ぐっと込み上げてくるものを感じたのは私だけだったでしょうか。感動と言えば、ラグビーワールドカップ、桜ジャパンでした。外国選手が多い中、ワンチームの合言葉の下で見せてくれた仲間内信頼感と迫力あるプレーは、これまで、あまりラグビーに興味のなかった人も含め日本人の心々をわしづかみしました。ほかの話題も含め、

多くの感動と勇気をもらった反面、台風十九号など大きな自然災害が引き起こされたり、世界遺産首里城の火災、加えてあおり運転、児童虐待、誘拐事件など胸を痛めるニュースも飛び交いました。

このような社会情勢の中、幸い私たち野木小学校においては、たいした災害も事件発生もなく、平穩無事な一年でございました。例年どおり先生方や地域の皆様

に暖かく見守られ、すくすくと成長してもらっています。今後ともお力添えの程よろしくお願い致します。同窓会といたしましても、学校が和室を有効利用するべく改装を施すに当たり、同窓会特別会計から資金協力を敢行させて頂きました。現行の機構、スタッフ数ではこのような事ぐらいが関の山でございしますが、もとほ

契機により頻繁に学校へ足を運んで戴くことをお願い申し上げます。



野木は心のふるさと



野木小学校校長 赤城 俊彦



今年度四月に野木小学校に校長として赴任させて頂いた。子どもたちが学ぶにた。申し分ない環境に驚くと共に心が躍ったことを鮮明に覚えております。また、広々とした和室には、明治四十二年に着任された初代校長であった「西川礼藏先生」からの歴代校長の写真が掛けられており、長い歴史のある野木小学校に勤めさせていたたく責任の重さを感じました。

今年度は学校教育目標を「認め合い 高め合う児童

報告となりましたお詫びと、積極活用、加えて、これを

立ち、北川の堤防が見えま

旧職員からの便り

たくましい野木の子

(平成26年度～27年度)

松岡 祝子

の育成」としました。絶え間ない技術革新など急激に社会が変化する中においても、豊かな心を持ちお互いを認め合いながら「生きる力」を身につけて欲しいと願っています。「子どもが通いたくなる学校 教職員が働きたくなる学校 保護者が通わせたい学校」を目指し「すべては子どもたちのために」をモットーに全職員で取り組んで参ります。

「子どもは地域の宝物」とよく言われます。ふるさと野木の温かさに触れたり地域の方々と交流を深めたりすることで、感動や感謝の気持ちを感じ育み野木の素晴らしさに気づくことと思います。これから野木の子どもたちのために、地域の方々、同窓会員の皆様のご協力を頂きますようお願い申し上げます。



野木小学校同窓会報の原稿依頼を受け、書くのが苦手な私はお断りしようと思いましたが、大変お世話になった野木小学校、野木地区のみなさんのことを思い出し、心に残っていることを書かせてもらうことにしました。

野木小学校に初めて赴任した日、新形式での校歌、子どもたちのパワーあふれるきれいな歌声に感動しました。この子どもたちと一緒に生活することができると思うと、これからの学校生活がとても楽しみにになりました。野木小学校は、教育環境もすばらしく、児童玄関前に遊具がたくさんあり子どもたちがいつも楽しく遊んでいました。十分の休み時間でも遊ぶ子どもたちを見て、異学年とも仲

がいいし体力もつくしいなあと思いました。

裏庭には、学校園があり、ビニールハウスまであり、これもまた驚きでした。ここでたくさんの野菜を栽培したことも思い出に残っています。

畑では、トウモロコシなどを作りましたが、カラスの被害にあい、なかなか収穫できませんでした。しかし、ビニールハウスで作ったカボチャ、メロンなどは思いもよらないほど収穫できました。メロンの種類は忘れましたが、子どもたちの顔ぐらいの大きさで、切るとオレンジ色をしたおいしそうなメロンでした。少し硬いのもありましたが、子どもたちと夏休みの登校日にたくさん食べました。カボチャは、カレーにしたり切っておうち

に持って帰ったりしました。人生最大の収穫でした。校門のそばの梅で梅ジュースを作った飲んだこと、トマトを収穫し、冷凍保存してミートソースを作った食べたことなどいろいろと作って食べたことも思い出されます。

学校横の川もカニやカワニナ、エビ、ヤゴなどいろいろな生き物がいました。夏になると、生き物探しをして、捕ってきた生き物のことを調べ、生き物広場を開いて、一年生を招待したことも楽しかったです。

子どもたちと野木地区探検にも行きました。地域の皆様には、見学や体験など大変お世話になりました。ありがとうございました。

育友会で、長い巻き寿司を作ったこと、体育大会で五十代後半の私も走ったこと、敬老会での出し物やバザー、六年生を送る会での保護者の方の出し物など野木地区ならではのパワー満点の催しものもたくさんありました。

登下校は、よほどのことがない限り、長い距離を徒歩で

通学することにも驚きました。最近、少しの雨や風でも送り迎えをするところが増えてきていました。しかし、野木地区は、杉山から下野木まで、雨や風がひどくてもほとんど徒歩で登下校をしていました。私も、杉山の担当になり、一緒に歩いたこともありましたが、毎日長い距離を歩いた子どもたちも立派ですが、簡単に車での送り迎えをされなかった保護者の方もすばらしいと思いました。本当にたくましい子どもたちでした。

・恵まれたすばらしい環境での野木小学校、それを支えてくださる保護者の皆様、地域の皆様、本当にすばらしい、パワーあふれる地域ではと思っています。



旧職員からの便り

みなさんの笑顔に感謝！

(平成23年度～25年度)

千田 勝

今の六年生が一年生の時に一緒に育てたアサガオ、毎年種を採り、次の年に種をまいて育て、緑のカーテンにしています。今年もたくさんの花が咲き、種を収穫しました。私が元気な間は続けようと思っています。

野木小学校を最後に退職しましたが、かわいいパワーあふれる子どもたちと生活できたことはとても幸せでした。その間、職員の皆様、保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりましたこと感謝申し上げます。本当にありがとうございます。



今回、教頭先生から連絡をいただき、原稿を書かせていただくことになりました。

当時は懐かしく思いながら野木小学校時代の資料をみると、「おたより」の綴りを見つけて思わず読み返していました。三年という短い時間ではありましたが、子どもたちの笑顔と温かい地域の皆さんに支えられ、とても楽しい時間を過ごさせていただいたことを思い出します。

今から九年前の四月、縁あって野木小学校にお世話になることになりました。社会教育での三年間の後、久しぶりの小学校現場での勤務ということもあり、期待とともに不安もありましたが、体育館での子どもたち

ちとの対面はとても心が温かくなりました。体育館

つばいに広がる校歌の歌声と元気な笑顔に私も初日からたくさんの元気をもらい、明日からの楽しい学校生活を想像しました。

野木小学校での思い出といえば、体育大会に向けて失敗を繰り返しながら一輪車の発表をやり遂げたこと、敬老会などで元気いっぱい踊った「よさこいソーラン」の発表など、子どもたちとの感動の場面がいっぱい

です。やり遂げた後の保護者の方や地域の皆さんの温かい声援は、子どもたちをこれ以上ない笑顔にしてくれ、みんなでやり遂げた達成感でいっぱいになりました。地域の皆さんに本当

に大切に育てていただいている野木の子たちは、いろいろな学校の場面で元気いっばいのびのびと活動してくれたことを思い出します。他にも保護者の皆さんやおじいちゃんおばあちゃん、地域の皆さんが本当に協力的で、たくさんお世話になりました。おかげで、私も子どもたちも貴重な体験をたくさんさせていただきました。当時を思い出すと感謝の気持ちでいっぱいになります。本当にありがとうございます。

何事にも元気いっばい、一生懸命に取り組むことのできる子、下級生にやさしく接しながら楽しく活動する上級生、この「輝きのあ

る野木の子」は、日々、地域の皆さんに見守られ、育てていただいているからこそなんだろうなと感じられました。十月に野木小学校で行われた書写の研究大会を見させていただきました。課題に向かって一生懸命に取り組む姿、友達にアドバ

イスしたりいいところを褒め合ったりしている姿を見出され、とても温かい気持ちになりました。これからも野木の子たちの「きらきらと輝く姿」を応援していきます。



会員からの便り

ふる里 野木で育ち

第57回卒(昭和41年)

堤 内藤 節子

私は、今から五十数年前に野木小を卒業しました。半世紀が過ぎた事に驚きです。同級会を開く度、寛先生や同級生と話すのは「まだ、みんな全員生きとる」という事です。元氣な昭和ニッパチ仲間です。楽しい小学校での思い出は、臨海学校の蚊帳の中で聞いたお化け話・音楽会の合唱「おおお、ブレネリ」です。これは、我

が家では子や孫に伝えていきます。二年生で、一ヶ月病気で欠席した時は、山本先生と友達から掛け算を居残りで教わりました。そして、一緒に学校話をしながら帰った時は嬉しかった事です。「一日一善日記帳」は、ごみ拾い・肩たたき等書きました。でも、提出前にしていない事を書く場合もありました。幼い頃の習慣は侮れないもので、二年ほど前からこのことを思い出したのです。乱れたスーパの台車・

くつはいけません。

下校後の思い出としては、かばんを背負ったまま、アケビ取りに行きました。夕方、友達と私の父が心配し自転車で迎えに来ました。アケビの新鮮な甘さ、自転車に乗りながら手を繋いだ事など当時の感情は消えませんが、夏の下校では、「水飲ませておくれ。」

いました。現在、英会話教室で二人机を並べ、旧交をあたためています。生きていく中で色々な事があります。自分も変わりました。この野木に生まれ育ち生活する尊さ・難しさを感じています。私の原点である大好きな野木です。失われがちな地域コミユニティーといわれます。そうであつても、私と子どもを大切にしていきたいと思つていきます。

かご片付けや店内のごみ拾い等小さな事ですが、する様になりました。その頃の通信簿には、順位が記入されており、友達と教え合うと同じで、笑い合いました。私が育った頃とは色々な事が変わってきました。これからも、そうでな

と言つて通学路にある家で水を頂きました。時々、お茶を頂くこともあり感激しました。地域の皆さんが、独りで子ども達を見守つて下さつていた事がようやく分かつてきました。帰宅後の遊びは、お寺での卓球・宮さんでの鬼ごっこ、くぎの陣取り、友達宅でのニツキ取り等いつぱい駆け回りました。隣のお姉さんとは、栗拾いに行き山道を教えてもらいました。自分達で考えた遊びもしました。

卒業式には、出口校長先生より「踏まれても咲いたんぼほの笑顔かな」のメッセージを戴きました。その句が書いてある額を、尊敬する友人から中学校での別れの時にもら

野木小学校を卒業して、三十数年が経ちました。私の学年は二十三名で、男子が十八名、女子が五名。と男子の占める割合がかなり多い学年でした。それでも男女関係なく、六年間は皆仲

思い出とこれからの野木小

第76回卒(昭和60年)

中野木 橋本 哲哉



2015 09 19



良く思いやりを持つて学校生活を送れたと思います。同級生に会えば当時を思い出し懐かしく話ができるのは、あの頃と同じあたったかい気持ちがお互いに残っているからだと思います。



現在は、排水性のよい大きなグラウンドが野木小にはありますが、当時は校舎の北側（今は新しい住宅が立ち並んでいる所）にありました。現在とは違い小さなグラウンドで両サイドに野球とソフトボールの場所があり走り幅跳びの砂場、そして隅の方には雑草が生えていました。体育の授業はもちろん、運動会、全校生でのラジオ体操で鍛えていた事を思い出します。

グローブをしていた手がピリピリするほど痛かった事を覚えております。スポーツ店で父親に木製のバットを買ってもらい家の庭で素振りの練習をよくしていました。しかし、野球の試合は七番レフトが定位置でした。足は特別速くもなく、遅くもなかったのですが、長距離走が好きでした。四十六才になった二〇一九年の美浜、五木ひろしふるさとマラソン大会で夫婦の部、同距離部門五キロコースを完走しました。大きく目標を言えば、ハワイのホノルルマラソンに出場し完走してみたいと思っています。

私は夢を持って二十二才の時に県外に行き、三十七才の時に福井に帰ってきました。今思えば、幾度となく失敗を経験しましたが、その先には必ず少しの成功がありました。求める結果も大事ですが、やってきた事の過程が一番大事だったと私は思っています。毎日、野木小学校の前を通り、地元企業へ勤務しております。日々過ぎる時間は平凡に感じられますが、この平凡に感じられる毎日が、将来野木の地で幸せを感じる過程だと思ひ、日々過ごしております。

現在、ののほな保育園に通う年少の息子がおりますが、三十数年前の約半数、一クラス十一名です。又、不思議なことに私の学年の時とは逆で男子が四名、女子が七名。と女子の占める割合が多い学年の様です。が、昔と変わらず男女関係なく仲良く保育所生活送っている事を知ると、野木の土地や地域の方達のおかげで子供達は純粹に素直に育まれていくのだろうなあと感謝の気持ちでいっぱいです。

少子高齢化が進行する中、この先も十名程度が推移し、野木小学校も小規模校の枠に入るかもしれません。統合、複式学級、いろいろな事が考えられますが、三年後には野木小学校へ入学です。少人数でも勉強はできる環境は整っています。運動も勉強、登下校も勉強、団体行動も勉強、友達との楽しいおしゃべりも勉強です。六年間の学校生活をクラス全員、小学校全体で、皆、毎日が楽しく心も体も健康で笑顔で登校できるように、保護者としてあたたかく見守り、全力でサポートしていきたいと思っております。

会員からの便り

宿題

第92回卒（平成13年）

上野木 倉谷 郁也

卒業したはずの野木小学校から二十年ぶりに宿題が届きました。しかも私の苦手な作文とは、先生はまだ私の卒業を認めていないのかもしれない。さっそく宿題のネタ集めとして小学校の卒業文集を読み返しましたが、自分の作文はあまりの文章力の無さに最後まで読むことができませ

卒業したはずの野木小学校から二十年ぶりに宿題が届きました。しかも私の苦手な作文とは、先生はまだ私の卒業を認めていないのかもしれない。さっそく宿題のネタ集めとして小学校の卒業文集を読み返しましたが、自分の作文はあまりの文章力の無さに最後まで読むことができませ

思い出してみると、夏休みの読書感想文は八月三十一日の夜になってから書き始め、翌朝までにべソしかかけなかったのを思い出します。私の小学校時代の一番の思い出といえば、算数の授業です。勉強が大好きだった私は、一年生の時に習った「1+1=2」という数式を今でもしつ



かりと覚えています。

勉強もそこそこに、昭和生まれの私の年代に流行った遊びは将棋でした。学校に遊び道具を持ち込むことは基本的に許されませんが、将棋だけは先生に黙認されていました。休み時間になれば少しの合間を縫って将棋を指していました。チャームが聞こえないフリをして次の授業がある音楽室へ行かなかつた時には、教頭先生にこつびどく叱られたのを忘れもしません。

叱られたと言えば、新しくできたプラント2へ自転車で買い物へ行った時もそうでした。児童だけで野木地区から外へ出ることは禁止されていました。友達と三人で何も恐れずに向かっていきました。しかし、堤からのあの短い道のりにもかかわらず某先生に出くわし、次の日には担任の先生に報告がきました。担任の先生からの「行ったのてません！」と元気良く答

えましたが、呆気なく嘘はバレて先生は更にヒートアップ。あの時の島津先生は泣けるほど恐かったです。

そんな島津先生との思い出は、熱気球を作ったことです。四枚の黒いゴミ袋を繋ぎ合わせて完成した熱気球は、校庭の鉄棒に紐で結び、次第にフワフワと浮かび上がりました。そして熱膨張により浮力が増し、風の勢いも相まって鉄棒からついに解き放たれました。「熱気球は本当に飛ぶのか？」という実験は大成功です。一方、地上では青ざめて浮かない表情の先生が印象的でした。

振り返ってみればたくさん思い出があり、野木小学校では勉強以上に大切なことも多く学ばせていただきました。まだまだ未熟な私なので、今後この野木地区に少しずつ恩返しをしていくことが私の次の宿題なのかと思っています。

会員からの便り

小学校時代を振り返って

第92回卒(平成13年)

武生 山形 真大

私が野木小学校で過ごしていたのは、約二十年前になる。ついこの前のように

怖い物知らずで何にでも挑戦していたように思う。

思うが、もうそんなに経ったのかと少しばかり驚いた。あの頃は、早く大人になっているんなことができるようになっていくなりたいとばかり考えていたが、いざ社会人になってみると小学生の時の方が、

今回、原稿の依頼があり、小学生時代を改めて振り返ってみた。応援合戦や一輪車演技を一生懸命練習した運動会、大阪・奈良に行った修学旅行、ドリカムの「LOVE LOVE LOVE」

を演奏した音楽会、昼休みや放課後に皆でグラウンドや体育館で遊んだこと。思い出されるのは、どれもこれも楽しかった記憶ばかりだ。実に充実した六年間だったと今でも思う。その中でも、私にとって印象深いものが二つある。

一つ目は、タイムカプセルだ。卒業を前に何か記念になるものを残そうという話になり、誰が言い出した

か校舎前の庭にタイムカプセルを埋めることになった。そして、二十歳になった成人式の時に同級生が集まって掘り起こすことに決まった。タイムカプセルには、それぞれ入れたものを入れた。当時流行っていたカードゲームやCD、野球のグローブ、

なかには制服の上着を入れた男の子もいた。そして、最後に担任だった島津先生が買ってきてくれたワインを入れて、カプセルを開けた時にそのワインで乾杯することを約束した。

結果として、計画通りにことは進まず、カプセルを開けたのは社会人になって二年か三年が経ったお盆の頃だった。ワインも割れずに無事残っていた。想像していたより渋い味わいだったが、笑顔で乾杯したことは良い思い出になった。

二つ目は、野球だ。小学校三年生からスポーツ少年団に入り、野木小のグラウンドで白球を追いかけていた。私は、そんなに上手な方で





はなかったもので、辞めたく
 なったこともあったが六年
 生で引退するまで続けられ
 たことは自信になった。小
 学校を卒業した後も、中学
 校と大学で野球を続けるこ
 とができ、たくさんの人と
 つながりをつくることがで
 きた。

最後になったが、母校の
 後輩たちには小学校のうち
 に自分が好きなこと、自信
 になる経験をたくさん積ん
 でもらい、楽しい小学校生
 活を送って欲しいと思う。



新成人からの便り

輝きのある野木の子として

第103回卒(平成24年)

堤 田中 晟 椰

私が野木小学校にいたと
 きの事を振り返ってみると、
 毎日ふざけていてよく先生
 に怒られていたのを思い出
 しました。そんな私でも小

校では地域の方と触れ合う
 行事が多くありました。こ
 れからもこの伝統が長く続
 くことを願っています。

学校の時、児童会長を務め
 ていました。私たちの代か
 ら挨拶運動をしました。朝、
 有線呼びかけて、登校や
 下校時に会った地域の方々
 に挨拶をしました。私はこ
 の優しく挨拶をして見守っ
 てくださる野木地区が本当
 に大好きです。長期休暇で
 帰ってきたとき、有線から
 聞こえてくる小学生の声を
 聴いて、今もこの運動が続
 いていることを知り素直に
 うれしく思いました。「元気
 な声で挨拶をする」当たり
 前の事ですが小さい頃この
 運動をして本当に良かった

私が大学生になり地元を
 離れ2年目を迎えます。一
 人暮らしをすることによって、
 家族や地域の方々を支えら
 れていることを改めて実感
 しています。地元に戻るこ
 とで体が落ち着き、心が入
 れ替わる感じがして、本当
 に野木の里が好きなんだな
 と毎回思います。今でも同
 級生とよく会います。そこで、
 他愛もない話をし、笑いあ
 っています。私はそんな気
 軽に楽しく笑いあえる仲間
 と出会えたことに感謝して
 います。
 そして、いつ何が起ころ

かわからない世の中で家族
 や地域の方々に支えられ生
 きていることに感謝し、亡
 き友の分も生き抜いていき
 たいと思っています。



児童作文

一年生



よみきかせ、ありがとう

一ねん いのうえめい

すいようびのあさは、いつもよみきかせがあります。

おもしろいはなしとか、かなしいはなしとか、いつもいろいろなほしをよんでくれて、ありがとう。

「かぜのでんわ」というおはなしは、せんがつながってないのにベルがなったので、びっくりしました。

わたしはほんがすきだから、よんでくれて、ありがとう。これから、たのしみにしていきます。

よみきかせ、だいすき

一ねん おくもじいさちすけ

すいようび、いつもじいちゃんにたのんでくれて、ありがとう。ボランティアさんは、ほんをよむと、ていねいによむと、ほれほれして下さいます。いつもいろいろなほんをよんでくれて、ありがとう。おはなして下さいます。

ほくは、かっほのおはなしがこころのいりまいました。

ほくは、ボランティアさんがきてくれるまえは、あまりほんをよまなかったけど、いまは、いっぱいほんをよむようになった。

たのしかったむかしあそび

一ねん まえだこうた

じいちゃんに、三せだいこうりゅうがありました。ほくは、どんなあそびがあるのか、とてもたのしみでした。

ほくがたのしかったのは、あやとりとお手だまです。

お手だまは、あかりさんのおばあちゃんが教えてくれました。お手だまをしていたとき、かんしゃしたことはあります。それは、

「お手だまを二こなげたら、すぐもう二このお手だまをもちかえるんだよ。」

と聞いてくれたことはです。こつがわかつて、うれしかったです。

あやとりは、みやもとせんせいがおしえてくれました。あやとりをしていたときも、かんしゃしたことがあります。それは、

「ゆびのていごのひもをもつ二このゆびに、おすのがこつなんだよ。ゆびのていごじゃなくひもとおすよ。」

くんなじになつて、できないかな。とていごごとばです。ほくは、あやとりがにがてだったけど、みやもとせんせいがおしえてくれたおかげで、

ほうきができました。

むかしあそびのたのしさがわかりました。らいねんもしたいです。

二年生



「おはじきが上手になつたよ」

内とうし月

三せだいこうりゅう会で、たい生さんのおばあちゃんにおはじきを教えてもらったから、おはじきが上手になりました。ほくは、いつもは、家でおはじきをやっていません。でも、たい生さんのおばあちゃんとおはじきをしたら、とてもおもしろかったです。

大きいおはじきは、一つしかとれなかつたけど、小さいおはじきは、いっぱいとれたので、とてもうれしかったです。あまり時間がなかつたから、

ほくは二十五こぐらいしかとれなかつたから、くやしなかつたけど、たのしかったです。もっととりたかったです。たい生さんのおばあちゃんに教えてもらって、おはじきがおもしろいのがわかってよかったです。

「たのしかったよ、けん玉」

あら木 ぼん

わたしは、けん玉を一回か二回ぐらいしかたことがありませんでした。

だけど、三せだいこうりゅうでいっぱいできました。

みどりのところ（大皿）は、さいしよはできなかったけど、何回もやっていたうちにのせられるようになってきました。つきは、黄色のところ（小皿）にのせてみました。何回もやったけど、できませんでした。青色のところ（中皿）もやってみただけど、できませんでした。でも、

つばさくんのお母さんは、青色のところのせられていました。ちよつとすごいなと思いました。わたしも、青色も黄色もせられるようになります。たいなと思いました。

三年生



楽しい学校生活

橋本 亜侑

わたしが学校で楽しいことは、たくさんあります。その中で一番楽しいことは、みんなと遊ぶことです。

たとえば、みんな遊び、なかよし遊び、三年生かくのレクリエーションです。学校のじゅぎょうも楽しいけど、みんなと楽しく遊ぶのは、学校でしかできないことなので大好きです。

みんな遊びやレクリエーションとていごは、三年生だけで遊びます。なかよし遊びは、決まった学年と遊

びます。今、三年生は五年生と遊んでいます。みんな遊びやしクリエーションのいいところは、同じ学年同士でも、もっとなかなかなれるところ。今まで、一・二年生の間も、一二人同じクラスのなかまで楽しくやってきましたけれど、みんな遊びのおかげで、今までより、もっとみんなとなかなかなれたり、一人ひとりのいいところを知れたりします。なかよし遊びのいいところは、今まであまり話したことのない五年生といっぱいしゃべったり、遊んだりできるところ。五年生はわたしたちにやさしく遊びのルールを教えてください。だから、いつも楽しく遊ぶことができます。

わたしは、こうやっていろいろな遊びをして、学校の友だちとなかなかなれる野木小学校が大すきです。わたしがこの野木小学校を卒業しても、みんなと交りゆうして、いつまでもこのなかまを大切にしたいです。そのために、毎日の学校生活で友だちの気持ちをよく考えて行動し、もっとなかなかなれるようにしていきたいです。



四年生

秋のフラワー交流



新田 紗矢

わたしは秋のフラワー交流で、一人ぐらしのおじいちゃんおばあちゃんがパンジーの花を見て喜んでくれるように、心をこめて植えました。これからも長生きしようと思ってもらえるように、うれしいです。前にフラワー交流で花をおくった人は家に来てくれたので、とてもうれしかったです。今度は私が行きたいです。

四年生は今回でフラワー交流が終わるけれど、これからはおじいちゃんおばあちゃんだけではなく、他の人も交流したいと思いました。

野木の園いっしょ

奥本 望瑠

野木の良いところは、野木に住む方がみんな、親切でやさしいところ。です。

フラワー交流の時、田植え体験の時、いねかり体験の時、わたしがこまっていたら、地いきの方がやさしく教えてくれました。田植え体験でこけそうになった時や、長ぐつが土の中に入ってしまった時には、すぐに助けに来てくれたこともありました。土手上がる時にも手をかしてくれ

ました。

野木のみなさんは、わたしたちを助けてくださったり、たくさんお手伝いをしてくださったりしています。そんな野木のみなさんが、わたしは大好きだし、野木で一番自まんでできる場所です。野木のみなさんの気持ち少しでもうれしい気持ちになるように、わたしは登下校の時、なるべく大きな声であいさつをするようにしています。これからもいろいろな交流を通して、仲良くしたいです。

五年生



楽しかった自然教室

鈴木 杏

私は、自然教室の目標を「みんなと楽しく過ごす」にしました。私は初めてみんなと宿泊して仲が深まりました。ゴムボート体験をして仲が深まったと思います。最初は、どうやったらうまく進めるのかが分からなかったけど、だんだん上手になってきたのでよかったです。野外炊火は、野菜を切ってみて、少し固かったけど上手にできてよかったです。がんばってやった後のカレーはおいしかったです。年縞博物館では、どうやって年縞ができるか教えてもらいました。年縞は、花粉、プランク

トン、黄砂、落ち葉などでできるそうです。私がびっくりしたのは、水月湖には、7万年前の年縞が残っていたことです。縄文博物館では、まが玉を作りました。手が疲れたけど、きれいなまが玉を作れてよかったです。私は、自然とたくさんふれたり、歴史にふれたりして楽しかったです。またみんなと学習したいです。

がんばれた田植え体験

寺坂 茉夏

2度目の田植えでほとんど知っていることだったので、前より上手に植えることができました。服などはとてもよごれたけど、楽しかったです。ご年配の方との交流は少ししかできなかったけど、ご年配の方々が私たちに田植えを教えてくださいました。田植えはもう今日で終わりましたが、稲刈りもがんばりたいです。6年生になったらもうできないし、これからはがんばることがないと思うので、おいしいお米を作りたいです。



六年生から学んだ体育大会

富崎 凜斗

一輪車では一年ぶりに乗ったので立ち乗りができるかとても不安でしたが、練習していくうちに感覚を取り戻すことができ、本番でも楽しく演技できてよかったです。ほとんどの競技は赤組などに負けてしまったけど、準優勝できてよかったです。六年生から学んだこととして、下級生をまとめていて、ますます尊敬しました。応援練習の時、きびしく指導してくださったので、本番ではセリフや応援歌をまちがえずに言うことができました。六年生になったら、下級生のめんどうを見ることのできるようにならないといけないことがわかりました。来年は小学校最後の体育大会なので、とても印象のこころ、いい大会にしたいです。



六年生



▼たのしみは あたまを使う ちえの輪を ほどきだすよう 考える時

植野 琥太郎

▼たのしみは 修学旅行 待ち望む 早く来ないか たまらない時

竹村 知己

▼たのしみは ソフト終わって ほっとする ひと汗かいて ふろはいる時

植野 瑠莉

▼たのしみは 令和最初の 夏祭り 屋台たくさん 金つかう時

田中 煌大

▼たのしみは 晴れてうれしい 外に出て ソフトボールで 汗をかく時

大橋 未来

▼たのしみは 昼飯前に 何度でも 予告見ながら 映画見る時

田中 脩三

▼たのしみは 家でまってる ハムスター 下校しながら 思い出す時

奥本 那瑠

▼たのしみは スパイクはいて アップして いやいよ本番 試合する時

塚本 拓未

▼たのしみは カードを買って 中を見て キラキラ見えて きたいする時

清水 蒼天

▼たのしみは いろんなペンで 絵がらかえ ノートぎっしり らくがきする時

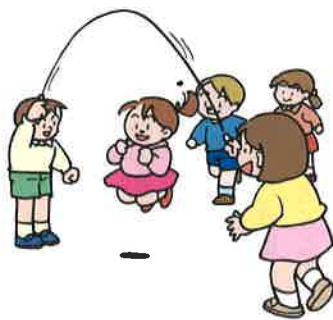
前田 光咲

▼たのしみは 宿題終わり ほっとして ボール手にして 遊び出る時

城間 一輝

▼たのしみは 修学旅行 うきうきと いつかいつかと まっている時

丸井 匠人



今年度の野木小学校の活動

5月10日 春季遠足(陶芸体験)



パレア若狭 工作スタジオ

4月24日 交通安全教室



野木小学校体育館

4月6日 入学式



野木小学校体育館

6月9日 体育大会



野木小学校グラウンド

5月16日 田植え



野木っ子農園

10月2日 町陸上記録会



野木小学校グラウンド

9月6日 稲刈り



野木っ子農園

7月3日 ひまわり荘訪問



小浜市加茂 ひまわり荘

10月23日 県書写書道教育研究会 公開授業



野木小学校多目的室(旧 和室)

10月13日 敬老会 ふれあい in 野木



野木小学校体育館

12月19日 「一途」人権コンサート



野木小学校体育館

11月28日 学校訪問コンサート



野木小学校体育館

11月9日 三世代交流会



野木小学校体育館

★★★★ 6年生思い出のシーン ★★★★★



修学旅行(大阪USJにて撮影)



..... 現在の『多目的室』(旧和室)の様子

編集後記

同窓会員の皆様、お待たせいたしました。今年度の母校の様子や同窓会員の近況をお知らせする同窓会報三十号が出来上がりましたので、お届けいたします。

今年度、同窓会特別会計より多大なる補助をいただき、長年本校で和室として使用しておりました部屋を改装し、全面床張りの空調設備の整った部屋が完成致しました。この部屋は多目的室として教科等の授業やクラブ活動など様々な教育活動で使わせていただきます。同窓会員の皆様方にこの紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。今後とも野木小学校の子供たちの教育のためにご理解・ご支援を賜りますようお願い致します。末筆ながら、会員の皆様の益々のご健康とご繁栄をお祈り申し上げます。

福井県三方上中郡若狭町武生十五一七一

野木小学校同窓会事務局